

株式会社プラントフォーム

アクアポニックスという革新的な技術で新しい食糧生産モデルを実現する

会社名	株式会社プラントフォーム
代表者名	代表取締役 CEO 山本 祐二
設立	2018年7月24日
資本金	104,000,000円（資本準備金含まず）
株主	経営陣、メタウォーター、JR東日本スタートアップ、大和企業投資、新潟ベンチャーキャピタル、第四北越キャピタルパートナーズ、大光SBI地域活性化ファンド、ツネイシキャピタルパートナーズ他
本社所在地	新潟県長岡市上前島1-1863
HP	https://www.plantform.co.jp/

資本業務提携



JR東日本スタートアップ株式会社
JR East Start UP Co., Ltd.

資本提携



大和企業投資
Daiwa Corporate Investment



SBI Investment



大光銀行



第四北越銀行
DAISHI HOKUETSU BANK



常石商事株式会社



新潟ベンチャーキャピタル
NIIGATA VENTURE CAPITAL



Think big.
medix



FARMSHIP

共同研究・開発



真の強さを学ぶ。
新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY



国立大学法人
長岡技術科学大学
Nagaoka University of Technology



KINDAI
UNIVERSITY



麻布大学
AZABU UNIVERSITY

融資

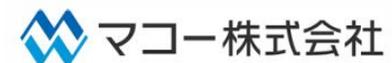


三井住友銀行



大光銀行

業務提携



マコー株式会社



YANMAR



POWER



KYORAKU



KONDO
PRINTING

クラウドファンディング



FUNDINNO

アクアポニックス参入支援事業

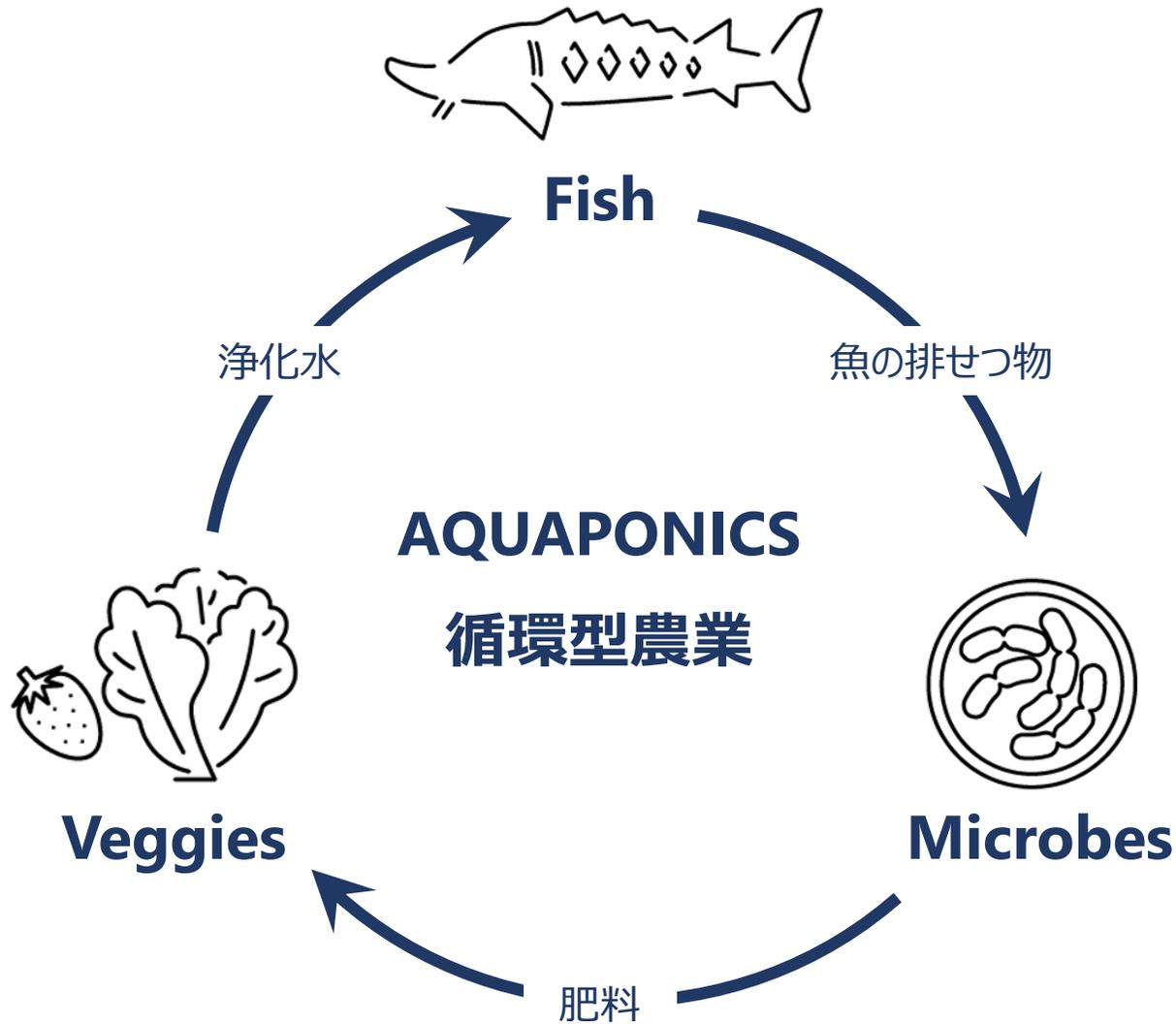
- アクアポニックスプラントの企画、設計、施工
- 加盟店サービスの提供
 - ✓ モニタリングおよび制御システムの提供
 - ✓ 種苗、専用飼料/資材等の販売
 - ✓ 運営サポート（検収、栽培支援、販路支援など）



アクアポニックスプラント運営事業

- 野菜および魚の生産、販売
- 加工食品の製造、販売（キャビア、発酵調味料など）
- レストラン事業（発酵熟成イタリアン）
- プラント見学サービス
- R&D
- 商品開発





**陸上養殖と
水耕栽培と
肥料生産を
同時に行う
循環型農業**

レタス



エディブルフラワー



ワサビ



チョウザメ



ティラピア



バジル



イチゴ



スイスチャード



錦鯉



エビ



ビーツ



パッションフルーツ



クレソン



サクラマス



イワナ



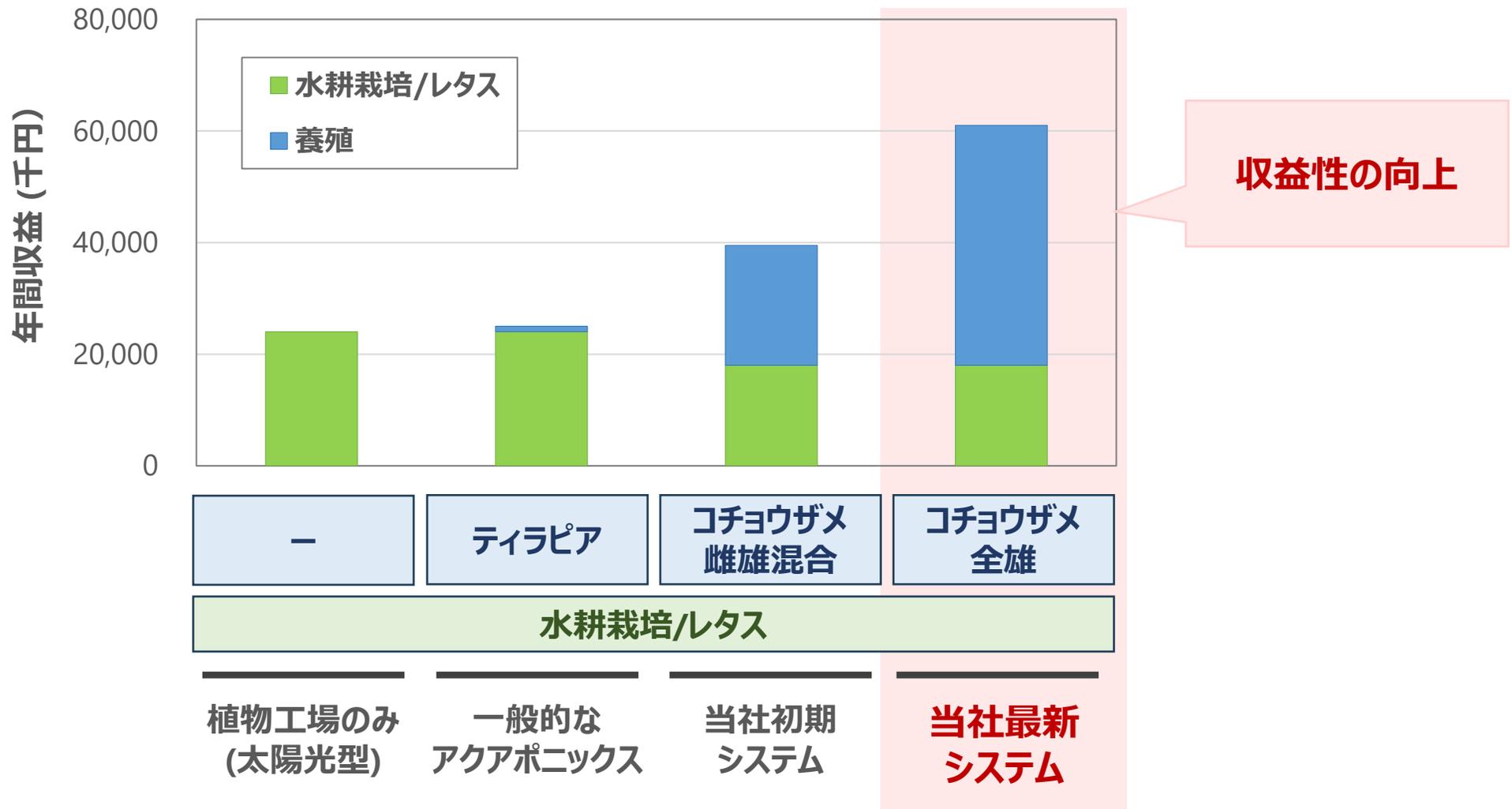
- ① 日本で初めて商用アクアポニックスプラントを実現 (2019年8月)
- ② アクアポニックスを植物工場として商用稼働開始 (2021年にイオンと販売契約締結、通年出荷を継続中)
- ③ アクアポニックス産キャビアの生産と販売を開始 (2023年3月※)
- ④ アクアポニックスでは日本発となる栄養機能食品の販売を開始 (2024年4月)

※プラントフォーム社調べ



主要取引先





※ レタス販売単価：通常の植物工場が100円、アクアポニクスが138円 (当社実績値)として試算
 ※ ティラピア出荷数：毎年2,000匹、500円/匹で試算
 ※ チョウザメ出荷数：毎年400匹 (雌雄混合は200匹)、1.7kg/匹、400,000円/kgとして試算

アクアポニクス市場のリーディングカンパニーとして、システム導入実績は全国18カ所に拡大

(当社顧客：メタウォーター、東北電力、NTT東日本、三井住友銀行、アース環境サービス、マルハン、マコー、新潟県他)



(香川県・高松市)

イチゴ x キャビア x 廃校舎

あなぶきグループと組み
既存資産を活かして
地域経済の発展へ



プレスリリース・ニュースリリース配信サービスのPR TIMES

プレスリリースを受信 企業登録申請

モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティー | ファッション | ライフスタイル | ビジネス | グルメ | スポーツ

会社概要 プレスリリース

Jパワーとプラントフォームが「バニラ×キャビア」アクアポニックスの共同実証を開始

～チョウザメとバニラの栽培を行う世界初(※1)の超高収益システムの商業化を目指す～

株式会社プラントフォーム 2025年10月10日 13時00分



国内で大規模アクアポニックスシステムを手掛ける手掛ける株式会社プラントフォーム（以下、プラントフォーム：新潟県長岡市、代表取締役CEO 山本 祐二）は、国内外で発電事業を展開する電源開発株式会社（以下、Jパワー：東京都中央区、代表取締役社長 社長執行役員 菅野 等）と共に、世界初(※1)のチョウザメを利用したアクアポニックスによるバニラ栽培の共同実証に関する覚書を締結し、本日より実証開始します。



(新潟県・長岡市)

バニラ x キャビア

Jパワーと連携して
超高収益モデルの開発を実施
世界需要を見据えて
海外展開を視野に



お問い合わせ先

- 株式会社プラントフォーム
- 執行役員 遠崎 英史
- tosaki@platform.co.jp

求めているパートナー

- 国産・サステナブルな作物・養殖魚・素材を利用した事業をご志向の企業様
- 肥料メーカー様
- 食品・水産物メーカー様

End of the Document